



# 病院NEWS

no. 378  
2015  
12/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

## 防災訓練(10月6日実施)について

管理課

防災訓練を10月6日(火)に高松市三木消防署のご協力のもと実施しました。



今回の訓練では、「病院火災を想定した避難誘導訓練」において、事前に設定する役割分担を最小限にし、現場主導型の訓練を実施すること、及び多様な避難誘導の方法を経験することを目的として実施しました。特に緊急事態における指揮命令と職員相互の協力・確認作業は非常に難しいものだったと思います。

引き続き、「災害拠点病院として大規模災害における防災訓練」として、医学部キャンパス一斉のシェイクアウト訓練やトリアージに特化した訓練を実施しました。トリアージの訓練では、模擬患者役となる医学科4年生全員に担当する症状を勉強してもらったうえで、ムラージュキットという救急訓練用品を使った特殊メイクや色付きガムテープで傷病を表現してもらいました。模擬患者役として「迫真の演技」で訓練の効果を大いに高めることができました。



今回の訓練結果を踏まえ、「if~ we can!」どんな時でも対応できるよう「防災力の強化」に努めたいと思います。

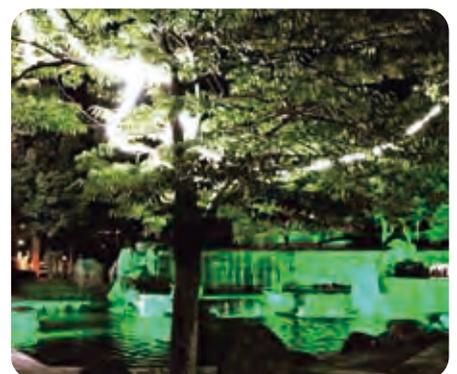


※シェイクアウト訓練:地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練。  
※トリアージ訓練:対応人員や物資などの資源が通常時の規模では対応しきれないような非常事態に陥った状況で、最善の結果を得るために、対象者の優先度を決定して選別を行う訓練。

## グリーンライトアップ(10月16日実施)について

企画調査係

附属病院では、香川県及び香川いのちのリレー財団に協賛し、「グリーンリボンDAY」である10月16日(金)の夜、移植医療のシンボルであるグリーンリボンにちなんで、病院をグリーン色にライトアップいたしました。これは、香川県内では初めての試みであり、家族や大切な方と、いのちのことや臓器移植について話すきっかけになることを願って実施されたものです。



## 新手術棟の院内内覧会を開催

病院再開発の第2期工事のうち、新手術棟は10月末に竣工しました。竣工前の10月13日、これまで再開発に関わった病院職員向けに院内内覧会を開催しました。内覧会では、新手術棟を利用する各部署の担当者らが実際に現場を見て、これから新手術棟で行われる高度医療（ロボット支援手術、ハイブリッド手術、MRI可能なナビゲーション手術、バイオクリーンルームなど）への準備を確認しました。今後は、12月10日に地域医療機関の方や報道機関向けの内覧会を開催し、年末年始の休暇中に引っ越し作業をして、2016年初から新手術棟での診療が稼働します。



▲ロボット支援手術室



▲ハイブリッド手術室



▲バイオクリーンルーム



▲MRI手術室(ナビゲーション手術室)

## アーム型X線CT診断装置導入について

### 放射線部

頭部撮影装置の更新に伴い、本年12月中旬よりアーム型X線CT診断装置(以下CBCT:Cone Beam Computed Tomography)が稼働いたします。

CBCTでは、これまでのパノラマ写真では見えにくかった顎の骨の立体的な形態や、神経管の位置把握などを容易に確認することができるようになります。また、従来の医用CTと比較して低被曝で高い分解能の画像を得ることが可能です。さらにインプラント等の補綴物から画像へ生じる影響も少なくなることから、より診断の

精度を上げることが期待されます。ただし、撮影を行うには10分程度立位または座位で体動することなく持続静止できることが必須ですので、意思疎通が不可能な患者さんや小児の患者さんは撮影することが出来ません。最新のCBCT導入で、より効率的で質の高い画像診断を実現し、今後も地域医療に貢献できるよう努めて参ります。



## 医学部解剖体慰霊祭の開催について

総務課

平成27年10月20日(火)13時30分より、医学部体育館において、解剖体(医学教育のための正常解剖、病因究明の病理解剖、不慮の事故等による法医解剖)の御霊をお慰めするため、解剖体慰霊祭を開催いたしました。

献灯・献花・黙とうの後、今井田医学部長、浜田香川県知事、清水白菊会理事長、医学部学生代表による追悼の辞が述べられました。

最後に、遺族や学生等参列者約500名が献花を行い、医学教育・研究に協力され、医学の向上・発展に貢献された1,870柱の御霊に哀悼の意を表し、故人の冥福を祈りました。



▲参列者による黙とう



▲献花



▲今井田医学部長 追悼の辞

## 子宮頸がんヒトパピローマウイルス

総合周産期母子医療センター 准教授 金西賢治

子宮頸がんは子宮頸部に発生する女性特有のがんであり、全世界で毎年約50万人が罹患し、約27万人が死亡しています。日本においても40歳以下の女性に発生するがんでは乳がんに次いで多く、若年での死亡率の増加が問題となっています。子宮頸がんの発生にはヒトパピローマウイルス(HPV)と呼ばれるウイルスの持続感染が原因であることが知られています。このウイルスは一般には性交渉で感染し、ほとんどの女性では一過性の感染で終わり、自然に排出されると考えられています。性交渉の経験のある女性であれば、80%程度の女性が、生涯に一度は感染すると考えられています。ウイルスが自然に排出されない場合、数年から数十年の持続感染する結果として子宮頸がんに進展すると考えられています。従来子宮頸がん検診は子宮頸部の細胞診により行われますが、最近ではHPV感染の有無を調べる検査を追加することで診断精度が高くなることから一部の自治体の住民検診や人間ドックなどの任意検診にも取り入れられ、細胞診とHPV検査の併用検査が普及しつつあります。女性生殖器に感染するHPVはその遺伝子型により100種類以上が知られており、そのうち子宮頸がんに関与するハイリスク型HPV13種類の有無を調べる検査がHPV-DNA検査です。この検査は従来の子宮頸がん検診を受けるときに、細胞診を行う時に同時に行うことが出来ます。2011年に産婦人科医会がHPV-DNA検査を併用することでの運用指針を示しましたが、細胞診とHPV-DNA検査がともに陰性ならば、次の検診間隔は3年でよく、発ガンリスクが低い場合の不要な検査を減らすことのメリットがあるといえる。30歳未満の女性では一過性の感染が多いため、HPV-DNA検査の併用ではなく、毎年の細胞診が勧められています。また、HIV感染女性、免疫抑制剤の投与を受けている女性、子宮頸部異形成や子宮頸がんの治療歴がある女性も毎年検診が推奨されています。細胞診の判定法や採取法では新たなシステムが導入され、診断精度の向上が計られています。HPV-DNA検査の併用の普及により、発ガンリスクを個別化し、費用対効果の面でも合理的な検診システムの発展に期待されます。

毎日新聞「四国健康ナビ」H27.8.18掲載

# 仕事と治療の両立を支援する相談窓口をご存じですか？

社会保険労務士による無料相談会を開催します。  
病気の治療をしながら働く方へ、就労継続のための情報提供やご相談に応じます。

## 就労相談窓口

TEL:087-891-2468  
FAX:087-891-2412

(香川県肝疾患診療連携拠点病院ホームページ お問い合わせフォームよりご記入ください)  
<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~kan/room.html>

## 社会保険労務士相談会日程

■時間:9:00~12:00

■場所:香川大学医学部附属病院 地域連携室

※下記カレンダー黄色の日を実施しております。

2015 **12** December

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2016 **1** January

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016 **2** February

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

2016 **3** March

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

## 臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長  
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URL に示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー H27.12~H28.2月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
12/6 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香番街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「ここまでできる脳卒中の最新治療」	総務課	(087)891-2008
H28 2/9 木	14:00~15:30	病院2階 カンファレンスルーム	肝臓病教室	肝炎相談窓口 (地域連携室)	(087)891-2468

**看護職員募集**  
**中途採用者随時募集**  
助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方  
お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

**編集委員会** (50音順)  
荒井(検査)、一條(経営)、小野(総務)、  
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、  
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、  
村上(病棟)、横井(情報)、横山(管理)、  
吉野(医事)  
〔委員長 横見瀬病院長〕